

「ツーリズム EXPO ジャパン 2026」 結果速報**4 日間合計で 183,270 人****『進化する旅のカタチ』をテーマに、海外 74 カ国・地域と国内 46 都道府県から 1,420 企業・団体が参加**

公益社団法人 日本観光振興協会、一般社団法人 日本旅行業協会（JATA）、日本政府観光局（JNTO）は、2026年9月24日（木）～9月27日（日）の4日間、東京ビッグサイトにて「ツーリズムEXPOジャパン2026（TEJ2026）」を開催しました。2年ぶりに東京ビッグサイトでの開催となった今年は、『進化する旅のカタチ』をテーマに、海外74カ国・地域、国内46都道府県から1,420の企業・団体が参加、会期中の来場者数は183,270人（4日間合計：速報値）を記録しました。

日付	天気	来場人数
9月24日（木）	曇のち晴	31,500人
9月25日（金）	曇り	38,520人
9月26日（土）	雨時々曇り	61,300人
9月27日（日）	曇り	51,950人
4日間合計		183,270人

■「ツーリズムEXPOジャパン2026」の特徴

開催初日のオープニングセレモニーでは、国土交通省 観光庁長官 木村 典央様、世界観光機関（UN Tourism）ディレクター イオン・ヴィルク様、世界旅行ツーリズム協議会（WTTC）プレジデント&CEO グロリア・ゲバラ様より祝辞を賜りました。高市早苗首相からはビデオメッセージが寄せられ、「18万人とも言われる来場者の皆様に、我が国をはじめ世界各地の観光地の魅力を知っていただくとともに、プロフェッショナルの皆様による活発な商談を通じて、インバウンド・アウトバウンド双方の交流が一層拡大し、多くの観光客の皆様が日本列島の隅々まで足を運んで頂く「弾み」となることを期待する。」と述べられました。

同じく初日には第9回TEJ観光大臣会合を開催しました。第1部には10カ国の観光大臣が参加し、「サステナブルツーリズムの先へー再生型ツーリズムへの投資戦略」をテーマに議論を行いました。第2部の世界観光リーダー会合には、国際観光機関5団体のトップとTEJ山北実行委員長、JNTOの若松理事が出席し、活発な意見交換が行われました。当日の様子はライブ配信され、後日、公式YouTubeチャンネルでも配信予定です。

商談会には855名のバイヤーと1,019名のセラーが参加し、事前アポイントの商談件数は6,454件となりました。展示会には1,553小間の出展があり、うち海外からの出展は597小間となりました。

一般日は開始から多くの来場者で賑わいました。初代スペシャルインフルエンサーには2人合わせて約120万人のフォロワーを持つ旅行系YouTuberの西園寺さんと、ZAKIさん（友情出演）が就任し、旅の魅力を発信いただきました。

今年のテーマ「進化する旅のカタチ」を象徴するように、会場では、テクノロジーや多様な価値観、新たなライフスタイルによって進化する旅を体験できるブースが展開されました。国内外の地域の歴史や文化、グルメ、伝統芸能・工芸を実際に体験できる展示や、最新テクノロジーを活用した新たな旅の提案が注目を集めました。来場者数も18万人の目標及び、前回の東京開催（2024年）を上回り、盛況のうちに幕を閉じました。

■「ツーリズムEXPOジャパン2027」も引き続き、東京ビッグサイトで開催予定

2027年のツーリズムEXPOジャパンは、2027年9月23日（木・祝）～9月26日（日）の4日間、東京ビッグサイトでの開催が決定しています。出展に関する詳細は公式ホームページ（<https://www.t-expo.jp/>）にてご確認ください。

<本件に関するお問い合わせ>

ツーリズム EXPO ジャパン推進室

電話：03-5510-2004 E-mail：event@t-expo.jp